

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		Kou+N				公表日		2026年3月6日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点			
		はい	いいえ						
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	2	狭いが人数に応じて遊び方を工夫しています。	少し狭く、危ないと感じることもありますが職員同士の声かけで安全を確保できている。遊びに必要な作り物が増えるたびにスペースが圧迫されがちになっていることもあり、整理整頓、処分するものを見極めスペース確保、そして、引き続き安全の確保に努めています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	適切な配置数で支援させて頂いています。	お子様の安全面の為にも職員が足りなくならないように配慮しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	玄関はスロープがあり、バギーがスムーズに入る。	個々のお子様の特性を意識した形でもおもちゃの配置がなされていない箇所があるため固定化された配置を検討していきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	日々清掃しています。朝の朝礼で一日の流れを伝えることでスペースの確保を前もって行き、子ども達が活動しやすいよう配慮しています。	お子様の成長と共に、空間の狭さも見られるため2店舗目を開所することになりました。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	3	体調不良時など、他のお子様と距離を保てるよう事務所を活用しています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	朝礼などで子供の支援目標の確認、担当者会議での内容は職員の共有LINEで周知できるようにしています。個別支援計画をたてる際も職員から意見が出やすいように個別支援計画(案)を回覧方式で回し記入できるようにしています。	午後から勤務のパートを含め、日々のやり取りからも目標設定や振り返りに参画できるようにしていきたいです。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	評価表は職員全員が把握できるようにしており、改善すべき点は、朝礼やミーティングで話し合う時間を設けている。保護者の意見等を把握する機会については、職員全員で共有LINEを設け常に確認できるようにしています。	共有LINEを活用しても周知しきれない時もあるので日々の朝礼、やり取りで漏れが無いよう声をかけあったり、公休翌日は出勤時に共有LINEの振り返りを促しています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	日々の朝礼や会議、支援中、個別面談などでその都度改善を心掛けています。	さらに他の職員からも意見が出来るよう定期的な面談なども検討していきます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	4	実地指導の際に提出する書類の整理整頓を心掛けています。	自治体による3年に1度程度の実地指導を受け、業務改善に繋げている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	事業所内で「虐待防止研修」を行い、外部研修も可能であれば受講しています。今年度は受講できなかったため、時間を確保し、職員のスキルアップを目指したいです。	日々の支援を優先する中で、今年度は外部研修の支援を優先する中で、今年度は外部研修の受講機会を確保できなかった。今後は職員のスキルアップを目指す環境づくりを整えていきたいと考えています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	2025年4月にホームページにて公表しています。2025年3月号おたよりでもお渡ししています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	モニタリングを半年に一度行い、5領域に基づいた個別支援計画を作成しています。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	モニタリング前にお子様に必要なことや何が出来るようになったかなど、職員間で共有している。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	個別支援計画(案)を立て、職員全員で見直し、検討をしています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	社内独自のアセスメントツールを用いて、子どもの課題をを分析し、よりよい支援を模索しています。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っています。本人支援だけではなく、保護者様や園、学校等に関しても必要に応じて対応しています。	より良い支援が出来るよう努めてまいります。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		職員間で相談しながら、担当者が中心となり立案しています。	多くの職員が参画できるように立案する機会を設けていきたいです。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		子ども達の成長に合わせて、遊びが広がるよう工夫しています。内容なども振り返りながら飽きが来ないように考慮しています。	年齢の幅があるため、お子様に合わせて取り組み方を変えていくように配慮しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11		集団活動において子供達同士の関わりはとても大切だと感じています。遊びの中でも午前午後の設定時間（30分程度）は集団活動を意識した遊び、設定時間以外は個別の課題を意識した活動を行っているため、支援計画は両方の目標で立てられています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		始業開始前にその日の送迎の流れやどういった支援を行うか話し合っている。午後から出勤してくる職員にもわかるように表示しています。	LINEなどを使って、支援の内容や子どもの状態を把握している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	4	送迎等で退勤時間が異なるため、主に共有ツールを活用して、その日のうちに周知していきます。	共有ツールを活用していますが十分な意見交換や認識のすり合わせまで行き届かない時があります。今後は共有体制をさらに充実させていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	2	リタリコのソフトに毎日記録しています。	ソフトに記録はしていますが、職員全体で支援の検証、改善につなげていく話し合いの時間が短いため、確保できるように努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		支援計画の更新時や、その他必要に応じて適宜モニタリングを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		管理者または児発管が参加させて頂いています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		担当者会議にて、他事業所や通園通学先と情報共有を行っています。通園通学先とは送迎時にも情報共有し連携をとっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		送迎の際、担当者会議などの場で意見交換の場が設けられているため、情報共有できています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		担当者会議や送迎の際に行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	3	大阪発達支援センターにて研修が受けられるように時間を確保していきたいです。	今年度は研修に参加できませんでした。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	5	公園などで地域のお子様と関わることはあります。	現在交流する機会は設けていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	日々の連絡帳、送迎時のフィードバックなどで保護者様にお伝えしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	家庭内の状況や聞き取り、ご相談など個別に対応させて頂いています。いつでもお声がけください。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施しておりません。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	支援プログラムは2025年4月よりHPにて公表。運営規定利用者負担等については契約時にご説明させて頂いています。ご不明な点はいつでもご相談ください。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	モニタリングを半年に1度行い、保護者様よりニーズをお聞かせ頂いています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	個別支援計画にサインを頂き、ご自宅でも見返せるように1部お渡ししています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	心配事や課題について送迎時でお話ししきれない場合はお電話などで対応させて頂いております。保護者様とのコミュニケーションを密に取り相談しやすい関係性の構築に努めてまいります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	11	支援の関係もあり、職員の参加は難しいですが、今後場所のみの提供させて頂き、保護者様で交流して頂く形だけでも取れればと思っております。	保護者様からのご要望もあり、計画したいと思っておりますが、まだ企画、立案までは時間がかかりそうです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	迅速に対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	毎月のおたよりの発行、SNSを活用し発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	個人情報書類は鍵付き書庫で管理し、留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	手話、場面の切り替えの歌、場合によってはスマホなどを利用しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	11		図っておらず、現在その予定もありません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	職員会議でマニュアルを作成し、年間計画で避難訓練を行うなどを決定しています。避難訓練（年に2回以上）、その他の研修、マニュアルの読み合わせを行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	各種マニュアルは玄関に備え付けがあります。また、避難訓練、感染症や防犯なども職員間でマニュアルの読み合わせ等を行っています。	緊急時の対応に関しては、救急対応の際はすぐに伝えられるようにファイルにまとめています。万が一に備え誰でも対応できるよう訓練をしっかりと行いたいです。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	服薬、予防接種については保護者様より、LINEや連絡帳にてご連絡を頂き、てんかん発作については日々の状況は連絡帳にて把握。緊急時対応については医師より指示書を頂いております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	アレルギーの対応については、契約時のアセスメントシートにてご記入頂いております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画を策定し、計画に沿って社内研修や訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	業務継続計画をHPで公表しています。周知が行き届くよう、この評価表の公表の際におたよりでもお伝えしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	2	ヒヤリハットの報告をすぐに記録できるようにQRコードを貼付しています。	ヒヤリハットを入力するのは増えているが、再発防止についての話し合いがなされておらず、朝礼の際に組み込むようにしていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	年に1度、すべての職員に事業所内で研修しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1	支援方法については常に話し合い、モニタリングの際に保護者様にご説明させて頂いております。	必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。	